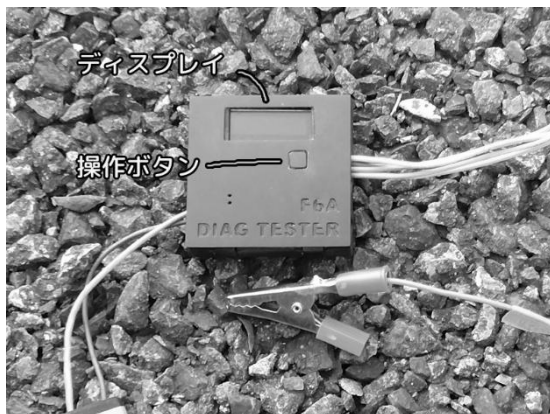


AZ-1 専用ダイアグテスター



ECUによる自己診断機能(セルフダイアグノーシステスト)のコード、ISC デューティ比、O2 センサフィードバックを表示する装置です

これらの情報は一般的な電子回路用テスターとジャンパー線を使用すれば見ることができますが、本デバイスで、より手軽に見られるようになります

■接続方法

1. エンジンルーム左側にあるダイアグノーシスモニタカプラのキャップを外します
2. ダイアグノーシスモニタカプラに本デバイスを接続します
3. 本デバイスから出ている電源ケーブルをバッテリーの+端子に接続します
※本デバイスを取り付けたまま走行しないでください



■操作方法

操作ボタンを押すたびに「待機状態」「ダイアグテスト」「O2 テスト」の3つのモードに切り替わります

■ダイアグテスト

1. 走行します

※この間に ECU がエラーを検出します

2. 停車後、エンジンをかけたまま、本デバイスを取り付けます

※エンジンを切ると検出されたエラーコードが消えてしまいます

3. 操作スイッチを 1 回押して"DIAG TEST"モードにします

※ダイアグノーシスモニタケーブルの A-C 端子を短絡した状態になります

4. 数秒間 LED が点滅したのち、ディスプレイ左に以下のいずれかのコードが表示されます

エラーコードが複数ある場合は、数秒おきに順番に表示されます

異常が検出された場合は整備工場等に相談してください

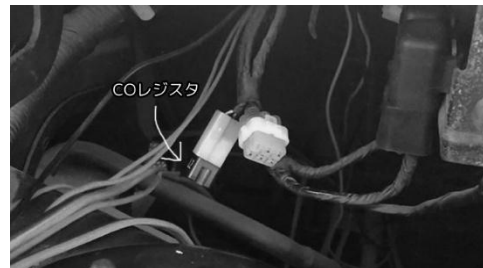
コード	表記	内容	対処
12	OK	正常	不要
13	O2	O2 センサ異常	対応が必要
14	W.TMP	水温センサ異常	対応が必要
21	IDL	スロットルセンサ(IDL)異常	対応が必要
22	THL	スロットルセンサ異常	対応が必要
23	A.TMP	吸気温センサ異常	対応が必要
24	SPD	車速センサ異常	対応が必要
31	PRS	プレッシャセンサ異常	対応が必要
41	IG	点火信号異常	対応が必要
42	C.AGL	クランク角センサ異常	対応が必要
56	OK AC	A/C 動作中(正常)	不要

■O2テスト

1. エンジンを完全暖気状態にします
2. 本デバイスを取り付けます
3. 操作スイッチを2回押しして"O2 TEST"モードにします
※ダイアグノースモニターカプラの A-C-D 端子を短絡した状態になります
4. ディスプレイ右に O2 センサフィードバックデューティ比が表示されるので読み取ります

規定値: 35% ~ 45%

5. 規定値より外れている場合は、CO レジスタを以下の表にしたがって交換します
表示された値が規定値より低い場合は CO レジスタを Rich(濃い)方向に、規定値より高い場合は CO レジスタを Lean(薄い)方向に交換します



CO レジスタ		抵抗値	スズキ部品型番	マツダ部品番号
R3	濃い	2.2kΩ	33931-80710	AY04-18-4A6
R2	:	1.5kΩ	33930-80710	AY04-18-4A5
R1	:	1kΩ	33929-80710	AY04-18-4A4
無し	:			
L1	:	680Ω	33928-80710	AY04-18-4A3
L2	:	430Ω	33927-80710	AY04-18-4A2
L3	:	270Ω	33926-80710	AY04-18-4A1
L4	:	160Ω	33932-80710	AY04-18-4A7
L5	薄い	82Ω	33933-80710	AZ18-18-4A0

純正部品の多くは廃番ですが、比較的容易に入手できる以下の代替品(K6A 用点火時期調整レジスタ)を使用できます

CO レジスタ	代替品	スズキ部品型番	マツダ部品番号
R3	#8	33926-76G80	1A10-18-101
R2	#7	33926-76G70	1A09-18-101
R1	#6	33926-76G60	1A08-18-101
L1	#N	33926-76G01	1A02-18-101A
L2	#5	33926-76G50	1A07-18-101
L3	#4	33926-76G40	1A06-18-101
L4	#3	33926-76G30	1A05-18-101
L5	#2	33926-76G20	1A04-18-101

■アイドル調整

1. エンジンを完全暖気状態にします
2. 本デバイスを取り付けます
3. 操作スイッチを 1 回押して"DIAG TEST"モードにします
※ダイアグノーシスモニタカプラの A-C 端子を短絡した状態になります
4. ディスプレイ右に ISC デューティ比が表示されるので読み取ります

規定値: 60% ~ 70%

アイドル回転数 950±50 rpm

5. 規定値から外れている場合は、アイドルアジャストスクリューで調整します



6. A/C スイッチをオンにします

規定値: 60% ~ 70%

アイドル回転数 1050±50 rpm

7. 規定値から外れている場合は、エアコンアイドルアップ VSV のアジャストスクリューで調整します



注意:

ISC デューティ比が正しく表示されない場合、ECU のエラー等でアイドル制御や A/C 制御へ移行していない可能性があります

とくに、車速信号の入力を切っている場合はこの状態になるのでご注意ください